

# ななむら

第70号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和3年4月1日現在

世帯数 529世帯

人口 1,458人

(男678人、女780人)

## 『照来地区公民館推進委員会』を開催！

3月24日（水）照来地区公民館において、「照来地区公民館推進委員会」を開催しました。

内容は、令和2年度の反省と令和3年度の事業計画についてご協議いただきました。

令和2年度については、新型コロナウイルスの感染拡大により2度にわたる緊急事態宣言が発令され、地区公民館が使用できない等もあり、多くの事業が実施できませんでした。そんな中、「照来の小さな文化祭」が照来地区の皆さんのご協力もあり、開催できたことは成果のひとつかなと思います。

### コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、学校運営の基本方針を承認したり、学校運営に意見を述べる「学校運営協議会」を設置した学校のことですが、学校と地域が連携して「学校運営に取り組む」ことが求められています。

また、学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」と一体的に進めなければなりません。

「地域学校協働活動」は、地域住民等の参画を得て、地域全体で子ども達の学びや成長を支える「学校を核とした地域づくり」を行うものです。

令和3年度の事業計画については、新型コロナも第4波が来ている状況であり、大変難しい選択をしなければなりません。できることをできる範囲で考えたいと思っています。（詳細は後日掲載）

特に今年は、照来小学校がコミュニティ・スクールのモデル校になっていることもあり、児童との交流も考えたいと思っています。

まだ、詳細は決まっていますが、いずれにしても照来地区の皆さんのご協力がなければできない事業です。照来を担っていく子ども達のためにもご協力をよろしくお願いします。



## 照来小学校の入学式が行われました！

4月8日（木）照来小学校の入学式が行われ、6名の児童が入学されました。新1年生の皆さん、保護者の皆さん、ご入学本当におめでとうございます。

残念ながら、本年も新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して行われましたが、大変いい入学式だったと思います。校長先生の式辞にありましたが、校歌の3番に出てくる「照来健児」のように、元気で、優しく、ふるさとを愛する子どもに育てほしいと思います。そして、遊びに勉強にいろんなことにチャレンジしてください。私も、「ふるさと照来の魅力」を少しでも皆さんに伝えられるように頑張りたいと思います。

写真は、西岡校長先生から教科書を受け取る新1年生です。



### ちよつと言

『「くつを履かない国だってある」あなたの中の常識は隣りの人の常識じゃないんです。』という文を見つけました。

この文の意味とは違いますが、この文を見て連想したことがあります。

それは、今、このコロナ禍で大変な時代になっていると嘆いている方がほとんどだと思います。

しかし、比べることはできないかもしれませんが、戦争という過酷な時代があったということ私たちが忘れてはならないと思います。

当時の皆さんは、そういう困難な時代を乗り越えて現在に至っています。このコロナも必ず乗り越えられると信じています。

小学生の皆さん、もう少しの辛抱です。

## 「夢ホール」リニューアル

4月11日(日)「文化体育館夢ホール」リニューアルオープンの記念事業が行なわれました。

このリニューアルは、施設の老朽化もあり、2年の歳月をかけて耐震補強・大規模改修工事を行ったもので、エントランスが広くなり、授乳室やリハーサル室、搬入庫が新たにできています。また、トイレも最新式のもので快適な空間となっています。

記念事業として、平田オリザさんの記念講演と劇団青年団による「銀河鉄道の夜」の公演も行われました。



## 5月の事業予定

- ◆5月18日(火) 午後7時30分～
  - ・事業名:「メディカルヨガ教室」
  - ・場 所:「照来地区公民館」
- ◆5月下旬 午後7時30分～
  - ・事業名:「照来地区公民館推進委員会」
  - ・場 所:「照来地区公民館」

## 記念講演での一口メモ

平田オリザさんが講演の中でこんなことを言っておられました。「人口が減少したから、スキー人口や海水浴客が減少したと言うが、そうではなく、スキー人口や海水浴客が減ったから人口が減少したのだ。つまり、スキーや海水浴といった出会いの場が少なくなれば結婚にたどり着く人が少なくなる。だから人口が増えない。人口を増やすには出会いの場を多くつくること。」だと。

確かに昔に比べ、出会いの場が少なくなっているのかなと思います。照来地区公民館事業で、出会いの場となるような事業ができないかと、講演を聴きながら思っていました。

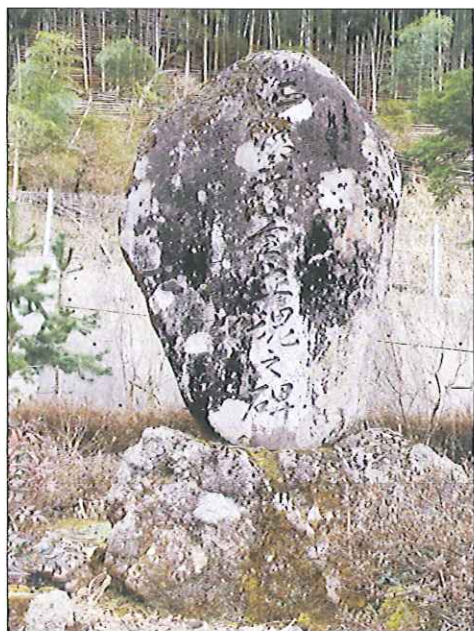
## 照来の歴史 (24)

## 『忠魂碑』

皆さん、旧照来小学校グラウンドの飯野側に照来地区の戦没者を祀る「英霊塔」(右の写真)があることはご存知のことと思いますが、照来にはもう一つ忠魂碑があるということを知っていますか。

飯野の巖山寺本堂の右横に、表面に「征清討台忠魂之碑」裏面に「明治三十年一月建」と書かれた碑があります。(左下の写真)

照来尋常小学校「明治30年誌」には、次のように載っています。『照来村では、日清戦争後「征清討台忠魂碑」を村内大字飯野、巖山寺境内に建て、その披露の式を明治30年5月2日挙行了。当日照来尋常小学校の職員生徒一同参拝し、職員は祭文を生徒は忠魂碑の軍歌(当校歌)を合唱し、同日温泉高等小学校の職員生徒も参拝している。』



日清戦争があったのは、明治27年7月25日から明治28年4月17日ですから、戦後の早い時期にこの碑は建てられています。また、この戦争で亡くなられた方が照来で2名と少ないにも関わらずこれだけ立派な忠魂碑が建てられています。

それは何故なのか考えてみると、本来、忠魂碑は戦死者の慰霊のために建てられますが、日露戦争以前は記念碑として建てられているようです。それから、碑に「征清」と書かれていることから、清国との戦いに勝利した記念の意味も兼ねているのかなと思われま。

そして、小学校の先生や生徒が参拝して軍歌を合唱していることを考えると、当時の「忠君愛国」思想が強かったことが伺えます。

これは、私個人の想像であって何ら根拠のあるものではありません。ご存知の方があれば教えてください！お願いします。

